

令和7年度薩摩川内市立平成中学校PTA総会

期 日 令和7年5月2日（金）

時 間 14:15～15:45

場 所 平成中学校体育館

【 会 順 】

進 行（ 城 戸 ）

- 1 定足数確認
- 2 開会のことば
- 3 PTA会長あいさつ
- 4 議長選出
- 5 協 議

議 長（ ）

- (1) 令和6年度PTA活動報告 … p.1
- (2) 令和6年度PTA会計決算報告 … p.2
- (3) 令和6年度体育文化後援会決算報告 … p.3
- (4) 令和6年度体育文化振興基金決算報告 … p.4
- (5) 創立30周年（20周年）記念事業基金報告 … p.5
- (6) 令和6年度PTA会計監査報告 … p.6
- (7) 令和7年度PTA役員等（案） … p.7
- (8) 令和7年度平成中学校PTA運営方針（案） … p.8
- (9) 令和7年度PTA活動計画（案） … p.9
- (10) 令和7年度PTA会費等（案） … p.10
- (11) 令和7年度PTA会計予算（案） … p.11
- (12) 令和7年度体育文化後援会予算（案） … p.12
- (13) 令和7年度体育文化振興基金予算（案） … p.13
- (14) 創立30周年（20周年）記念事業基金予算（案） … p.14
- (15) その他

〔 資料 〕

- PTA専門部所属一覧 p.15 ○ 校区代表自治会代表名簿 p.16 ○ 令和7年度PTA会則 p.17
○ PTA組織図／慶弔規定 p.19 ○ 体育文化後援会規定 p.20 ○ 体育文化振興基金規定 p.21
○ 年間行事予定表 p.23 ○ グランドデザイン p.25 ○ 教室配置図 p.26
○ 職員名簿／学校医 p.27 ○ 歴代PTA役員一覧等 p.28

- 6 新旧執行部あいさつ
- 7 感謝状贈呈

○ 一松 芳朗 様：R6PTA会長 ○ 城戸 浩二 様：H28・R6PTA副会長

- 8 令和7年度学年委員長・専門部長・校区代表紹介（新会長）
- 9 校長あいさつ並びに職員紹介
- 10 閉会のことば

専門部会（年間活動計画の話合い） 16:00～16:45

総務部	研修広報部	生活環境部	保健体育部	家庭教育学級
図書室 （校舎1階）	被服室 （校舎3階）	1A教室 （校舎3階）	調理室 （校舎3階）	3A教室 （校舎3階）

令和6年度 P T A活動報告

活動目標	月	執行部	総務部	研修広報部	生活環境部	保健体育部	家庭教育学級部
		○各専門部の連携・調整に努め、全体的な統合を図る。 ○外部機関との連携に努める	○学年・学級P T Aの充実を図る。 ○各地区との連携に努める。	○研修活動の充実を図り、会員相互の豊かな資質の向上に努める。 ○P T A新聞の発行を行うと共に文化活動に参加協力する。	○学校環境の整備・充実に努める。 ○生徒の基本的生活習慣の育成を図り、健全育成に努める。	○親子球技大会をとおして、親子や会員相互の親睦を深める。 ○ 体育大会行事や保健行事へ協力し、生徒及び会員相互の健康・体力の維持・増進に努める。	○家庭教育学級の運営 ○諸研修会へ参加奨励 ○P T A活動に積極的に参加する。
活動計画	4	9 火 新旧執行部会 # 月 新旧評議員会 # 専門部引継会	9 火 新旧執行部会 # 木 学級P T A				# 木 家庭教育学級開講式
	5	P T A総会 2 木 専門部会 P T A歓迎会 8 木 第1回学校運営協議会 # 月 月例執行部会 # 土 市PTA連合会総会 # 木 総務評議員会	2 木 部会 # 月 月例執行部会 部会 # 木 総務評議員会	2 木 部会 部会 # 木 総務評議員会	2 木 部会 7 火 平成校区挨拶デー	2 木 部会	2 木 部会 # 木 総務評議員
	6	# 土 草P母親部会 # 月 地域P T A # 土 北陸指導者育成事業(1) # 月 月例執行部会	# 月 地域P T A # 火 夏の平成フェスタ # 学年・学級P T A # 月 月例執行部会		7 金 平成校区挨拶デー		# 金 学校保健委員会
	7	6 土 保護者研修会(1) # 木 公立募集定員説明会 # 日 親子球技大会	# 日 親子球技大会	部会 6 土 保護者研修会(2) P T A新聞発行	8 月 平成校区挨拶デー 部会	部会 # 日 親子球技大会	# 土 家庭教育学級 (講演 スマホ利用)
	8	# 日 月例執行部会 # 日 愛校作業	# 日 月例執行部会 # 日 愛校作業		# 日 愛校作業		# 土 中央ブロック講演会
	9	2 月 総務評議員会 第2回学校運営協議会 # 日 体育大会協力	2 月 総務評議員会 # 日 体育大会協力	2 月 総務評議員会 部会	2 月 総務評議員会 6 金 平成校区挨拶デー	2 月 総務評議員会 # 日 体育大会協力	2 月 総務評議員会 # 日 体育大会協力
	10	# 金 月例執行部会 第3回学校運営協議会 # 土 九州P T A研究大 # 日 会	# 金 月例執行部会		4 金 平成校区挨拶デー # 土 青少年育成の日の集い(1)		# 土 家庭教育学級 (親子でヨガ)
	11	1 金 月例執行部会 7 木 総務評議員会 # 月 P T A研修視察 # 金 P T A忘年会	1 金 秋の平成フェスタ 月 月例執行部会 7 木 総務評議員会 8 金 3年P T A # 月 P T A研修視察 # 金 P T A忘年会 # 水 1・2年学級P T A	7 木 総務評議員会 部会 # 月 P T A研修視察 部会	7 木 平成校区挨拶デー 総務評議員会	7 木 総務評議員会 # 水 学校保健委員会	7 木 総務評議員会 # 月 P T A研修視察 # 土 市合同研修大会(2)
	12	# 金 校区一周強歩大会 # 日 門松作り	# 金 校区一周強歩大会	部会 P T A新聞発行	6 金 平成校区挨拶デー	# 金 校区一周強歩大会	
	1	9 木 月例執行部会 第4回学校運営協議会 # 月 総務評議員委員会	9 木 月例執行部会 # 月 総務評議員会	# 月 総務評議員会	8 水 平成校区挨拶デー 部会 # 月 総務評議員会	# 月 総務評議員会	# 月 総務評議員会
	2	1 土 県P委嘱公開(2) # 金 新役員選出 # 火 次年度役員候補者の会 第5回学校運営協議会 # 木 月例執行部会	5 水 3年P T A ⇒雪のため20日に延期 # 金 新役員選出 # 火 次年度役員候補者の会 部会 # 木 1・2年学級P T A 月 月例執行部会	部会	7 金 平成校区挨拶デー	1 土 県P委嘱公開 5 水 学校保健委員会 ⇒雪のため20日に延期	8 土 家庭教育学級⇒中止 # 木 家庭教育学級 (閉講式) アンケート他
	3	# 水 卒業式 # 火 P T A送別会	# 水 卒業式 # 火 P T A送別会	部会 P T A新聞発行	7 金 平成校区挨拶デー		

令和6年度PTA会計決算書

令和 7年 3月 27日

収入の部

項 目	本年度予算額	決算額	増減	備 考
前年度繰越金	452,286	452,286	0	
会費	620,400	613,800	-6,600	(P戸数80戸+職員13人)×550円×12ヶ月(※ 転出入有り)
雑収入	3	21,040	21,037	貯金利息・総合保障制度・校外生活指導連絡 会謝金・PTA九州大会補助金・3学年会計より
合計	1,072,689	1,087,126	14,437	

支出の部

項 目	本年度予算額	決算額	予算残額	備 考
専門部費	194,000	164,184	29,816	
(内訳)				
専門部活動費	50,000	22,144	27,856	各専門部10,000円
役員手当	134,000	134,000	0	PTA執行部役員手当
おやじの会	10,000	8,040	1,960	おやじの会活動費・強歩大会バイク代・お礼用品代
研修費	270,000	165,020	104,980	
(内訳)				
PTA研修旅費	60,000	57,880	2,120	PTA九州大会及び研修会参加旅費
PTA研修視察代	80,000	52,580	27,420	研修視察バス代
PTA新聞代	70,000	54,560	15,440	17,600円×2回+19,360円
その他	60,000	0	60,000	
学年・学級活動費	55,000	55,000	0	1学級あたり:生徒数×500円+3,000円×1学 級(特別支援学級)
運営費	10,000	1,232	8,768	体育大会小学校6年生景品代
教育活動費	30,000	0	30,000	
環境整備費	10,000	0	10,000	
生徒会費	40,000	40,000	0	
補助金	0	0	0	
生徒奨励費	50,000	30,630	19,370	
(内訳)				
卒業生記念品代	20,000	13,230	6,770	印鑑代(490円×27人)
卒業証書ホルダー代	25,000	17,400	7,600	ホルダー一代530円×30人+箔押代1500円
その他	5,000	0	5,000	
負担金	70,000	55,490	14,510	県PTA安全互助会費・市P連会費・PTA連絡 協議会会費等
渉外費	10,000	0	10,000	愛校作業御礼代
慶弔費	50,000	33,000	17,000	転退職者記念品代等
雑費	10,000	3,610	6,390	白布クリーニング代・額縁代
予備費	273,689	14,000	259,689	歓送迎会補助
合計	1,072,689	562,166	510,523	

単位(円)

収入決算額 1,087,126 円 - 支出決算額 562,166 円 = 残額 524,960 円

残額 524,960 円は令和7年度へ繰り越し

令和6年度体育文化後援会決算書

令和 7年 3月 27日

収入の部

項 目	本年度予算額	決算額	比較増減	備 考
前年度繰越金	884,872	884,872	0	
会費	264,600	261,600	-3,000	長子80人×250円×12カ月+次子9人×200円×12カ月
補助金	50,000	9,339	-40,661	体育文化振興基金より補助
雑収入	8	377	369	貯金利息
合計	1,199,480	1,156,188	-43,292	

支出の部

支出の部

項 目	本年度予算額	決算額	予算残額	備 考	
サッカー部活動費	40,000	27,000	13,000	20,000円+1,000円×7名	
バレー部活動費	40,000	28,000	12,000	20,000円+1,000円×8名	
卓球部活動費	40,000	30,000	10,000	20,000円+1,000円×10名	
野球部活動費	40,000	31,000	9,000	20,000円+1,000円×11名	
音楽部活動費	50,000	30,000	20,000	20,000円+1,000円×10名	
駅伝大会補助	100,000	0	100,000		
引率旅費	20,000	2,000	18,000		
音楽関係費	100,000	99,490	510	春の祭典 バス代+参加料	
顧問補助	50,000	50,000	0	5,000円×10名(顧問・副顧問)	
強歩大会関係	106,000	92,447	13,553		
(内訳)	補助金	43,000	37,009	5,991	執行部10,000円 高来校区12,000円 陽成・城上校区各8,000円八幡校区5,000円
	豚汁代	30,000	26,729	3,271	
	地域協力費	10,000	8,460	1,540	
	レンタカー代	18,000	15,249	2,751	
	原付代	5,000	5,000	0	
雑費	10,000	0	10,000		
体育的行事補助	100,000	75,680	24,320	のぼり旗等	
予備費	503,480	2,700	500,780	原付代不足分	
合計	1,199,480	468,317	731,163		

単位(円)

収入決算額 1,156,188 円 支出決算額 468,317 円 残額 687,871 円

残額 687,871 は令和7年度へ繰り越し

令和6年度 体育文化振興基金決算書

令和7年3月27日

収入の部

項 目	決 算 額	備 考
前年度繰越金	923,283	
会費	82,000	1年生のみ 2,000円×39名+転入者会費(2,000円×2名)
補助金	0	
雑収入	419	貯金利息
合計	1,005,702	

支出の部

項 目	決 算 額	備 考
県吹奏楽コンクール補助	73,080	鹿児島県吹奏楽コンクール バス代
体育文化後援会補助	9,339	体育文化後援会へ補助
合計	82,419	

単位(円)

収入決算額		支出決算額		残額
1,005,702円	-	82,419円	=	923,283円

残額923,283円は令和7年度へ繰り越し

創立30周年(20周年)記念事業基金

令和6年度 決 算 報 告 書

1 収入の部

費 目	金 額	備 考
前年度繰越金	207,189	
記念誌代	0	
補助金	0	
利子	29	貯金利息
合 計	207,218	

2 支出の部

費 目	金 額	備 考
なし		
合 計	0	

次年度繰越金	207,218
--------	---------

令和6年度PTA会計監査報告

令和6年度のPTA会計及び体育文化後援会会計、体育文化振興基金、創立20周年記念事業基金会計の監査結果を、下記により実施いたしましたので、報告いたします。

記

- 1 監査日時 令和7年 3月 27日
- 2 場 所 平成中学校校長室
- 3 監査対象及び内容
 - (1) PTA会計について
 - ア 会計簿
 - イ 通帳
 - ウ 領収証綴等
 - (2) 体育文化後援会会計について
 - ア 会計簿
 - イ 通帳
 - ウ 領収書綴等
 - (3) 体育文化振興基金会計について
 - ア 会計簿
 - イ 通帳
 - ウ 領収書綴等
 - (4) 創立20周年記念事業基金会計について
 - ア 通帳
 - イ 会計簿
 - ウ 領収証綴等
- 4 監査結果 上記の書類等について監査いたしましたところ、会計簿・通帳・領収証等が適切に処理されており、異状がありませんでした。

令和7年 3月27日

監査委員

氏名

嬉野 奈緒子



氏名

栗須 亮一



令和7年度 PTA役員一覧表（案）

Ⅰ PTA執行部

役 職	氏 名	生徒名	学級	備考	役 職	氏 名	生徒名	学級	備考
会 長	松本 将幸	晁汰	3 A		副 会 長	田中 文香	倫太朗	3 A	
副 会 長	伊藤 克樹	太一	2 A		副 会 長	竹内 慶司	教 頭		
副 会 長	嬉野奈緒子	蒼	2 A		総 務 部 長	下 蘭 瑞穂	結夏	3 A	
庶務	吉田 昂史	PTA係			総務副部長	大園 三香	琴美	3 A	
会計	嬉野奈緒子	※副会長兼務			会 計	田中 信芳	事務職員		
監事	一松 芳朗	※前年度会長			監 事	城戸 浩二	※前年度副会長		
顧 問	福園 和幸	校 長							

2 総務部

役職	氏 名	生徒名	学級	備考
部 長	下 蘭 瑞穂	結夏	3 A	
副 部 長	大園 三香	琴美	3 A	

3 校区代表

	校区	氏 名	生徒名	学級	備考
校 区 代 表	八幡	村山 郁美	瑛奏	2 A	
	高来	鶴園 志穂	蒼太	2 A	あおい（1A）
	城上	吉井みゆき	凜華	2 A	
	陽成	今久保美穂	夢華	3 A	蒼輔（2A）

4 学年代表

年	学年委員長 学年副委員長	生徒名	学級	備考
1 年	(委員長)	姫羅	1 A	
	福屋 ゆかり			
	(副委員長)			
	平田 いづみ	叶夢	1 A	
	小園 依美	美尋	1 A	
2 年	(委員長)	佐知	2 A	
	中村 洋子			
	(副委員長)			
	野島 祐也	愛妃	2 A	
	三角 美紀	煌	2 A	
3 年	(委員長)	結夏	3 A	
	下 蘭 瑞穂			
	(副委員長)			
	大園 三香	琴美	3 A	
	中堀 由佳	柚星	3 A	

令和7年度 平成中学校PTA運営方針（案）

1 活動の目的

- (1) 会員相互の研修を充実し、資質の向上を図り、家庭の教育力を高める。
- (2) 学校の経営方針並びに学校教育目標を理解し、家庭との連携を深め、学校教育目標の実現に協力する。
- (3) 全会員参加によるPTA活動の充実を図り、PTAへの意識の高揚と相互の親睦を深める。

2 重点課題

- (1) PTA活動の活性化
- (2) 道徳教育活動の継続的推進
- (3) 家庭教育の充実
- (4) 学校、家庭、地域の連携強化

3 重点目標

- (1) 学級PTAの充実
- (2) 各専門部活動の充実
- (3) PTA活動運営資金の確保
- (4) 会員相互の親睦と協力

4 執行部の基本的な活動

- (1) 企画運営に関する事項
- (2) 予算・決算並びに財政に関する事項
- (3) 各専門部の調整・管理に関する事項
- (4) 予算案の作成
- (5) PTA三役の選任
- (6) その他必要な事項

5 各専門部の基本的な活動

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">(1) 総務部<ol style="list-style-type: none">① 学級PTAの運営に関する事項② PTA行事等の連絡調整事項③ 歓送迎会・忘年会の計画運営④ その他必要な事項(2) 研修広報部<ol style="list-style-type: none">① 会員の研修に関する事項② 広報活動に関する事項③ その他必要な事項(3) 生活環境部<ol style="list-style-type: none">① 青少年育成に関する事項② 環境整備・浄化に関する事項③ 安全教育及び指導に関する事項④ その他必要な事項 | <ol style="list-style-type: none">(4) 保健体育部<ol style="list-style-type: none">① 学校給食に関する事項② 青少年の体位・体力に関する事項③ 保健衛生に関する事項④ その他必要な事項(5) 家庭教育学級部<ol style="list-style-type: none">① 家庭教育学級の運営に関する事項② その他必要な事項 |
|--|---|

6 PTA会員相互の研修と青少年健全育成事業推進

- (1) 県PTA新聞全戸購読
- (2) 県PTA安全互助会加入
- (3) 子供災害安全会への加入

令和7年度 P T A活動計画（案）

活動目標	月	執行部	総務部	研修広報部	生活環境部	保健体育部	家庭教育学級部
		○各専門部の連携・調整に努め、全体的な統合を図る。 ○外部機関との連携に努める	○学年・学級P T Aの充実を図る。 ○各地区との連携に努める。	○研修活動の充実を図り、会員相互の豊かな資質の向上に努める。 ○P T A新聞の発行を行うと共に文化活動に参加協力する。	○学校環境の整備・充実に努める。 ○生徒の基本的な生活習慣の育成を図り、健全育成に努める。	○親子球技大会をとおして、親子や会員相互の親睦を深める。 ○ 体育大会行事や保健行事へ協力し、生徒及び会員相互の健康・体力の維持・増進に努める。	○家庭教育学級の運営 ○諸研修会へ参加奨励 ○P T A活動に積極的に参加する。
活動計画	4	8 火 新旧執行部会 21 月 新旧評議員会 専門部引継会 28 月 第1回学校運営協議会	8 火 新旧執行部会 11 金 学級P T A				
	5	P T A総会 2 金 専門部会 P T A歓迎会 12 月 月例執行部会 17 土 市PTA連合会総会 29 木 総務評議員会	2 金 部会 12 月 月例執行部会 部会 29 木 総務評議員会	2 金 部会 部会 29 木 総務評議員会	2 金 部会 7 水 平成校区挨拶デー 部会 29 木 総務評議員会	2 金 部会 部会 29 木 総務評議員会	2 金 部会 家庭教育学級開講式 29 木 総務評議員
	6	4 水 第2回学校運営協議会 16 月 地域P T A 21 土 単P母親部会 21 土 北薩指導者育成事業（1） 23 月 月例執行部会	16 月 地域P T A 23 月 月例執行部会 24 火 夏の平成フェスタ 学年・学級P T A		6 金 平成校区挨拶デー		
	7	5 土 保護者研修会（1） 青少年育成会総会 公立募集定員説明会 27 日 親子球技大会		部会 5 土 保護者研修会（2） P T A新聞発行	7 月 平成校区挨拶デー 部会	12 土 学校保健委員会 部会 27 日 親子球技大会	12 土 家庭教育学級
	8	21 木 月例執行部会 24 日 愛校作業 1 月 総務評議員会	21 木 月例執行部会 24 日 愛校作業 1 月 総務評議員会	1 月 総務評議員会	24 日 愛校作業 8 月 平成校区挨拶デー		中央ブロック講演会 1 月 総務評議員会
	9	11 木 第3回学校運営協議会 21 日 体育大会協力	21 日 体育大会協力	部会		19 金 体育大会準備 21 日 体育大会協力	21 日 体育大会協力
	10	10 金 月例執行部会 18 土 青少年育成の日の集い（2） 18 土 九州P T A研究大会 19 日 福岡市大会（1） 31 金 月例執行部会	10 金 月例執行部会 31 金 秋の平成フェスタ 月例執行部会		6 月 平成校区挨拶デー		
	11	6 木 総務評議員会 P T A研修視察 P T A忘年会 29 土 県P委嘱公開（2）	6 木 総務評議員会 7 金 3年P T A P T A研修視察 P T A忘年会 26 水 1・2年学級P T A	6 木 総務評議員会 部会 P T A研修視察 部会	6 木 総務評議員会 6 木 平成校区挨拶デー	6 木 総務評議員会 26 水 学校保健委員会 29 土 県P委嘱公開（1）	6 木 総務評議員会 15 土 市合同研修大会（2） P T A研修視察
	12	12 金 第4回学校運営協議会 19 金 校区一周強歩大会 21 日 門松作り	19 金 校区一周強歩大会	部会 P T A新聞発行	8 月 平成校区挨拶デー	19 金 校区一周強歩大会	家庭教育学級
	1	9 金 月例執行部会 26 月 総務評議員委員会	9 金 月例執行部会 26 月 総務評議員会	26 月 総務評議員会	8 木 平成校区挨拶デー 部会 26 月 総務評議員会	26 月 総務評議員会	家庭教育学級 26 月 総務評議員会
	2	13 金 新役員選出 次年度役員候補者の会 部会 19 木 第5回学校運営協議会 月例執行部会	13 金 新役員選出 次年度役員候補者の会 部会 19 木 1・2年学級P T A 月例執行部会	部会	6 金 平成校区挨拶デー	4 水 学校保健委員会	家庭教育学級（閉講式） アンケート他
	3	11 水 卒業式 P T A送別会	11 水 卒業式 P T A送別会	部会 P T A新聞発行	6 金 平成校区挨拶デー		

=令和7年度 PTA会費等について=

令和7年度のPTA会費及び体育文化後援会、体育文化振興基金について、下記のとおりとする。

記

- 1 P T A 会 費 一戸から毎月550円
- 2 体育文化後援会費 長子1人につき毎月250円
次子より、1人につき毎月200円
- 3 体育文化振興基金 1年時の1学期に一戸から2,000円
(※詳細は体育文化振興基金規定を参照)

令和7年度PTA会計予算書(案)

収入の部

項 目	本年度予算額	前年度決算額	増減	備 考
前年度繰越金	524,960	452,286	72,674	
会費	646,800	613,800	33,000	(P戸数84戸+職員14名)×550円×12ヶ月(*転出入有り)
雑収入	3	21,040	-21,037	貯金利息総合保障制度・校外生活指導連絡会謝金・PTA九州大会補助金・3学年会計
合計	1,171,763	1,087,126	84,637	

支出の部

項 目	本年度予算額	前年度決算額	増減	備 考
専門部費	194,000	164,184	29,816	
(内訳)				
専門部活動費	50,000	22,144	27,856	各専門部10,000円
役員手当	134,000	134,000	0	PTA執行部役員手当
おやじの会	10,000	8,040	1,960	
研修費	270,000	165,020	104,980	
(内訳)				
PTA研修旅費	60,000	57,880	2,120	
PTA研修視察代	80,000	52,580	27,420	研修視察バス代
PTA新聞代	70,000	54,560	15,440	
その他	60,000	0	60,000	平成4校PTA研修会参加費他
学年・学級活動費	59,500	55,000	4,500	学級活動費=生徒数×500円 5,000円×学級数(特別支援学級)
運営費	10,000	1,232	8,768	体育大会小学校6年生景品代
教育活動費	30,000	0	30,000	講演会講師謝金他
環境整備費	10,000	0	10,000	愛校作業等軽トラックガソリン代他
生徒会費	40,000	40,000	0	生徒会へ補助
補助金	0	0	0	
生徒奨励費	50,000	30,630	19,370	
(内訳)				
卒業生記念品代	20,000	13,230	6,770	印鑑代
卒業証書ホルダー代	25,000	17,400	7,600	ホルダー代
その他	5,000	0	5,000	卒業記念品予備費
負担金	70,000	55,490	14,510	県PTA安全互助会費・市P連会費・PTA連絡協議会会費他
渉外費	10,000	0	10,000	愛校作業御礼代他
慶弔費	50,000	33,000	17,000	転退職者記念品代等他
雑費	10,000	3,610	6,390	白布クリーニング代(入学式・卒業式)他
予備費	368,263	14,000	354,263	歓送迎会補助他
合計	1,171,763	560,934	610,829	

単位(円)

令和7年度体育文化後援会予算書(案)

収入の部

項 目	本年度予算額	前年度決算額	増減	備 考
前年度繰越金	687,871	884,872	-197,001	
会費	264,000	261,600	2,400	(長子84名×250円×12カ月)+(次子5名×200円×12カ月)
補助金	50,000	9,339	40,661	体育文化振興基金より
雑収入	8	377	-369	貯金利息
合計	1,001,879	1,156,188	-154,309	

支出の部

支出の部

項 目	本年度予算額	前年度決算額	増減	備 考	
サッカー部活動費	40,000	27,000	13,000	20,000円+1,000円×人数	
バレー部活動費	40,000	28,000	12,000	20,000円+1,000円×人数	
卓球部活動費	40,000	30,000	10,000	20,000円+1,000円×人数	
野球部活動費	40,000	31,000	9,000	20,000円+1,000円×人数	
音楽部活動費	50,000	30,000	20,000	20,000円+1,000円×人数	
駅伝大会補助	100,000	0	100,000		
引率旅費	20,000	2,000	18,000	野球部及びサッカー部県大会引率補助	
音楽関係費	100,000	99,490	510	春の祭典 バス代+参加料	
顧問補助	55,000	50,000	5,000	5,000円×11名	
強歩大会関係	111,000	92,447	18,553		
(内 訳)	補助費	43,000	37,009	5,991	執行部13,000円 高来校区12,000円 城上校区8,000円 陽成・八幡校区各5,000円
	豚汁代	30,000	26,729	3,271	
	地域協力費	10,000	8,460	1,540	お礼品代
	レンタカー代	18,000	15,249	2,751	レンタル料+ガソリン代
	原付代	10,000	5,000	5,000	原付2台
雑費	10,000	0	10,000		
体育・文化的行事補助費	100,000	75,680	24,320		
予備費	295,879	2,700	293,179		
合計	1,001,879	468,317	533,562		

単位(円)

令和7年度体育文化振興基金予算書(案)

収入の部

項 目	本年度予算額	前年度決算額	増減	備 考
前年度繰越金	923,283	923,283	0	
会費	54,000	82,000	-28,000	一年生のみ 2,000円×27名(転出入あり)
補助金	0	0	0	
雑収入	8	419	-411	貯金利息
合計	977,291	1,005,702	-28,411	

支出の部

項 目	本年度予算額	前年度決算額	増減	備 考
県大会補助	未定	73,080		県大会に出場した場合のみ支出のため
体育文化後援会費へ補助	未定	9,339		当該年度の集金額-県大会補助費のため
合計		82,419		

単位(円)

創立30周年(20周年)記念事業基金予算書(案)

収入の部

項 目	本年度予算額	前年度決算額	増減	備 考
前年度繰越金	207,218	207,189	29	
記念誌代	0	0	0	
補助金	0	0	0	一般会計より補助
雑収入	414	29	385	貯金利息(利息0.2%で計算)
合計	207,632	207,218	414	

支出の部

項 目	本年度予算額	前年度決算額	増減	備 考
	未定			
合計	0	0		

単位(円)

令和7年度 P T A 専門部所属一覧（案）

		研修広報部	保健体育部	生活環境部	家庭教育学級部
部 長		城戸真知子	原勝隆	福山智恵美	橋口ひろみ
生徒名（学級）		3 A	3 A	3 A	3 A
備 考					
副 部 長		乙須理加	伊内恵	松崎智美	内山こずえ
生徒名（学級）		3 A	3 A	3 A	3 A
備 考					
担 当 職 員		赤崎・森永	井上・片野坂	知覧・赤木・米里	茅野・板坂・宮崎
学級専門部代表	1 A	片平真作	児浦由佳子	松田亜由美	福山梢
	2 A	立野愛弓	栗須亮一	内山千春	竹本晋也
	3 A	城戸真知子	原勝隆	岩下芙美	中島正春
部 員	1 A	片平真作	安藤苑美	上園麻美	打越成人
		小園阿佑美	大川内和明	菊永明美	尾崎美由紀
		猿渡あゆみ	児浦由佳子	戸島真由美	堤克弘
		南原あゆみ	森永成美	野島こずえ	中橋豊
				松田亜由美	福山梢
	2 A	愛甲辰徳	上村浩二	植木小百合	岩川兼作
		内村成子	神戸千恵子	内山千春	税所洋士
		川原奈津美	栗須亮一	川畑ちえり	竹野和
		坂元晴美	鮫島竜太	鈴木さおり	竹本晋也
		立野美和子	堅山真喜子	松元太吾	中村忠義
		藤春義和	成枝伸英	南朱音	野元朋美
		松本佳子	成枝瞳	本久保正剛	賦句友美
					牧迫みさ子
	3 A	乙須理加	山部智子	福山智恵美	福山勝幸
		林留美	内野弘枝	松崎智美	中島正春
		堂脇智保	原勝隆	西野弘真	内山こずえ
		城戸浩二	伊内恵	岩下芙美	橋口ひろみ
					長野和恵

令和7年度 校区代表・自治会代表名簿

校区	地区	代表氏名 (生徒名・学級)	自治会名		自治会代表	生徒名	学級	備考
城上	城上	吉井みゆき (凜華 2 A)	1	中間	松本 佳子	波音	2 A	
			2	上塚	吉井みゆき	凜華	2 A	
			3	下塚	嬉野奈緒子	蒼	2 A	
			4	今寺	松崎 智美	絆笑	3 A	
			5	(城上住宅)				
	吉川		6	宇都川路				
			7	吉川	成枝 伸英	逞務	2 A	
			8	長野				
			9	下ノ段				
高来	高来	代表：鶴園 志穂 (蒼太 2 A) (あおい 1 A) 副代表：川畑ちえり (みう 2 A)	10	西迫				
			11	妹背				
			12	妹背橋				
			13	新妹背橋	竹本 沙織	奈央	2 A	
			14	瀬之岡	上園 麻美	優菜	1 A	
			15	高来住宅	藤春 正美	侑愛	2 A	
			16	本町	豎山 真喜子	陽子	2 A	
			17	矢立	堂脇 智保	大聖	3 A	
			18	上手	小園阿佑美	優衣	1 A	
	陽成	今久保 美穂 (夢華 3 A) (蒼輔 2 A)	19	下大迫				
			20	本川	小園 依美	美尋	1 A	
			21	中麦	堤 幸枝	葉瑠	1 A	
			22	宮小平	内山 千春	琉之亮	2 A	
			23	松岡				
			24	都合				
			25	上大迫				
			26	四牧	牧迫みさ子	咲希	2 A	
			27	一条殿	伊藤 克樹	太一	2 A	
			八幡	八幡	村山 郁美 (瑛奏 2 A)	28	西川内	
29	役田							
30	別府原	中橋 豊				夢結	1 A	
31	的場							
32	自下	大園 三香				琴美	3 A	
33	上ノ原	賦句 友美				美羽	2 A	
34	上ノ原住宅							
35	上今村	村山 郁美				瑛奏	2 A	
36	中今村							
37	丸山	長野 和恵				円香	3 A	
38	今村住宅							
39	田海ニュータウン	岩川 兼作				修太郎	2 A	
40	白浜							
41	杉ノ角	福山 智一				太基	3 A	

※城上校区（城上地区・吉川地区）は、校区代表として一人とする。

薩摩川内市立平成中学校 P T A 会則

第 1 章 総 則

- 第 1 条 この会は、薩摩川内市立平成中学校 P T A と呼ぶ。
- 第 2 条 この会の事務局を平成中学校に置く。
- 第 3 条 この会は、平成中学校の子どもたちの父母、又はこれに代わる保護者と職員及び準会員をもって構成する。
- 第 4 条 この会は、会員相互の理解と協力によって、子どもたちの福祉の増進と教育の向上を図ることを目的とする。
- 第 5 条 この会の前条の目的を達成するために、次の活動を行う。
- 1 会員の資質の向上を図る研修
 - 2 家庭と学校の緊密な連携による子どもたちの生活指導
 - 3 子どもたちの生活・学習環境の改善
 - 4 学級・学年・学校経営への協力
 - 5 その他、本会の目的達成に必要な活動

第 2 章 役 員

- 第 6 条 この会に次の役員を置く。
- 会長 1 名 副会長 4 名（内 1 名は教頭） 監事 2 名
庶務 1 名 会計 2 名（内 P より 1 名、T より 1 名）
- 第 7 条 この会の役員は、次の方法で選出する。
- 1 会長、副会長、監事は総務委員会で選出し、総会において承認を受ける。
 - 2 庶務、会計は会長が委嘱し、総会において承認する。
 - 3 会長を 1 年間、あるいは副会長を 2 年間経験した者については、自ら希望しない限り再任されないこととする。
- 第 8 条 役員の任期は、1 年とし、再任を妨げない。
- 第 9 条 役員の職務は、次のとおりとする。
- 1 会長は、この会を代表し、一切の会務を総括する。
 - 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故がある時はその職務を代行する。
 - 3 監事は、その年度の会計を監査し、結果を総会で報告する。
 - 4 庶務・会計は、会長の指示に従い、事務並びに会計を司る。

第 3 章 機 関

- 第 10 条 この会に次の機関を置く。
- 1 総会
 - 2 評議員会
 - 3 理事会
 - 4 総務委員会
 - 5 執行部会
 - 6 総務部会
 - 7 専門部会
 - 8 学年・学級 P T A（代表者会）
 - 9 小学校区 P T A
- 第 11 条 総会は、全会員をもって構成し、毎年 1 回年度初めに開催する。ただし、会長もしくは総務委員会がその必要を認めた場合、臨時に開催することができる。
- 第 12 条 総会は、次の事項を議決する。
- 1 会則の改廃、新役員の承認、予算・議決の承認、活動計画の承認、その他必要な事項。
 - 2 この会は、会員の過半数の出席をもって成立し、議事は、出席者の過半数の同意をもって決定する。
 - 3 この会の欠席者に対して、後日欠席者会を開催し、総会での決議・承認事項等の周知を図ることとする。ただし、前会員は希望者のみとする。
- 第 13 条 評議員会は、執行部・総務部・専門部長・評議員をもって構成し、総会に次ぐ決議機関とし、下記の事項について行う。会は、会長が必要に応じて招集することができる。
- 評議員は学級正副委員長、教職員（専門部副部長）とする。（ただし、学級代表と小学校区代表の重複は、これを避ける。）
- 1 総会に提出する議案の審議。
 - 2 総会並びに理事会から提起された事項の承認。
 - 3 その他、必要な事項。
- 第 14 条 理事会は、執行部、総務部、理事をもって構成し、会長が必要に応じて招集し、下記の事項を行う。理事は、各学年正副委員長、各専門部正副部長、教職員各学年 1 名とする。
- 1 総会に提出する議案の起案、及び総務委員会提出の議題の検討・承認。
 - 2 総会で承認を受けた事項の執行運営。
 - 3 その他、必要な事項。
- 第 15 条 総務委員会は、執行部、総務部、各専門部長をもって構成し、会長が必要に応じて招集し、次の事項を行う。
- 1 総会に提出する議案の起案。
 - 2 総会で承認を受けた事項の推進。

- 3 三役の選任をし、総会において、承認をうける。
 4 表彰者の選任及び決定。
 5 その他必要な事項。
- 第16条 執行部会は、会長、副会長、監事、庶務、会計、総務部長・副部長、顧問で構成する。
 第17条 総務部は各小学校区代表、各学級正副委員長、担当教職員で構成し、総務部長1名、総務副部長1名を選出する。
 第18条 専門部は、執行部、総務部を除く全てのPTA会員で構成し、総会で承認を受けた活動計画を推進する。
- 1 専門部として、次の部を置く。
 研修広報部 生活環境部 保健体育部 家庭教育学級部
- 2 各部の役員として部長1名、副部長2名(1名はTより)を各構成部員より選出する。
 3 各部の活動内容は次の通りとする。
 (1) 研修広報部 広報、講習、講演会、研修視察、会員の資質の向上に寄与する活動。
 (2) 生活環境部 子どもたちの登下校の安全の確保、郊外生活の指導及び健全育成に関する事項と教育環境の整備に関する事項の推進。
 (3) 保健体育部 子どもたち及び会員の体位、体力の向上、環境衛生・安全に関する事業の推進。体育行事への協力。
 (4) 家庭教育学級部 家庭教育学級事業の推進。家庭内での子どもたちの健全育成に関する事項の推進。
- 第19条 学級PTA、学年PTAは、全会員をもって学級別、学年別にそれぞれ構成し、随時、会を開くことができる。
 この学級・学年PTAに次の代表を置き、会の運営にあたる。
 1 学級PTA(代表者会) 学級委員長1名、副委員長1名を選出する。但し、学年が1クラスの場合は、学級委員長1名、副委員長2名を選出する。
 2 学年PTA(代表者会) 各学級の正副学級委員長の中から、学年委員長1名、副委員長1名を選出する。
- 第20条 小学校区PTAは、各校区の会員で組織し、代表者1名を選出し、地域における必要な活動を行う。
 第21条 学校長並びに前PTA会長は、顧問として、指導、助言をすることができる。

第4章 会 計

- 第22条 この会の経費は、会費及びその他の収入をもって充てる。会費の額は、別に定める。
 第23条 この会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第5章 補 則

- 第24条 この会に次の帳簿を備える。
 1 会則 2 会員名簿 3 記録簿 4 会費徴収簿 5 会計簿
- 第25条 この会の慶弔規定、旅費規程、基金規定は、別に定める。
 第26条 役員手当は次のとおりとする。
- | | | | | | |
|-------|-----------|------|-----------|------|-----------|
| 会 長 | (30,000円) | 副会長 | (10,000円) | 総務部長 | (10,000円) |
| 総務副部長 | (10,000円) | 庶 務 | (10,000円) | 会 計 | (10,000円) |
| 監 事 | (2,000円) | 専門部長 | (5,000円) | | |

附 則

- 1 この会則は、平成 3年 5月 8日から施行する。
 2 この会則は、平成 6年 4月 28日から施行する。
 3 この会則は、平成 8年 5月 1日から施行する。
 4 この会則は、平成 9年 4月 28日から施行する。
 5 この会則は、平成11年 4月 27日から施行する。
 6 この会則は、平成12年 4月 26日から施行する。
 7 この会則は、平成15年 3月 19日から施行する。
 8 この会則は、平成16年 4月 28日から施行する。
 9 この会則は、平成17年 4月 28日から施行する。
 10 この会則は、平成20年 4月 24日から施行する。
 11 この会則は、平成21年 4月 23日から施行する。
 12 この会則は、平成24年 5月 1日から施行する。
 13 この会則は、平成26年 5月 1日から施行する。
 14 この会則は、平成27年 4月 30日から施行する。
 15 この会則は、平成30年 12月 7日から施行する。
 16 この会則は、令和 6年 5月 2日から施行する。



第2条 慶事は、次の各号とする。

- | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | 100 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | 100 |

第3条 弔事は、次の各号による。

- | | | | |
|---|----------------------------|------------------------|-------------|
| 1 | 子どもの保護者、又は保護者に代わり実際に保護するもの | の死亡に際しては | 10,000円及び花輪 |
| 2 | 子どもの死亡に際しては | 理事長の協議による。 | 10,000円及び花輪 |
| 3 | 教職員の死亡に際しては | 本人の保護者の死亡に際しては | 5,000円及び花輪 |
| 4 | 教職員の配偶者、本人の保護者の死亡に際しては | 同店の教職員の祖父母等の親族の死亡に際しては | 3,000円 |
| 5 | 同店の教職員の祖父母等の親族の死亡に際しては | | |

第4条 病氣無いは、教職員及び保護者の会員が、入院の場合には執行部会で協議し、評議員会で報告する。見舞金は、5,000円とする。

第5条 会員の事故（火災、水害、その他）及び教職員の事故等の場合は、執行部会で協議し、評議員会で報告する。見舞金は、5,000円とする。

第6条 本会の発展充実に特に功労のあった場合は、下記のとおり感謝状を贈る。

- 1 P T A会長を1年以上勤めた場合。
- 2 P T A副会長を2年以上勤めた場合。
- 3 P T A専門部長を3年以上勤めた場合。
- 4 その他、学校の充實・発展に著しく功勞のあった場合は、執行部会の協議による。

第7条 緊急の場合は、会長・副会長及び校長により処理できるものとする。

第8条 本規定に基づいて執行された事項は、その後の総会において会員に報告する。

平成中学校旅費規定

第1条 この規定は、平成中PTA会員が、PTA行事に携わる出席及び研修、または、用務のために出張したときに適用する。

第2条 旅費の基準は下記による。ただし、予算の都合、又は用務の内容等により、一部これを増減することができる。

- | | | | |
|---|------|------------|---------------------|
| 1 | 市内出張 | 終日 | 2,000円 (資料代・弁当代込み) |
| 2 | 市外出張 | 半日 | 1,000円 |
| | | 交通費実費 | と2,000円 (資料代・弁当代込み) |
| | | 宿泊を要するときは、 | 泊3,000円を別途支給する。 |

第3条 旅費の請求は、定められた請求書にて請求し、定められた領収書に、署名・捺印の上、受理するものとする。

附則

- 1 この規定は、平成11年4月28日より実施する。
- 2 この規定は、平成13年4月27日より実施する。
- 3 この規定は、平成23年4月27日より実施する。

体育文化後援会規定

薩摩川内市立平成中学校 P T A

第1条 目的

この会は、平成中学校の体育部、文化部及び学校の体育活動や文化活動が、円滑に活動できるように経費の補助をするとともに、体育・文化活動の振興に寄与することを目的とする。

第2条 後援会費

- 1 この会の経費は、会費及びその他の収入を持って充てる。会費の額は、別に定める。
- 2 後援会費の年間の納入金額を変更する必要があるときは、評議員会で検討し決定する。
- 3 後援会費の余剰金が生じた場合は、文化振興基金に補助することができる。なお、余剰金については執行部会で検討し、評議員会で決定する。

第3条 運用規定

- 1 部活動等の補助対象については次のとおりとする。
本校部活動組織表に該当する部活動に対しては、所属する生徒の人数に応じた補助を行う。
- 2 各部活動等への補助金の額は次のとおりとする。
各部活動へ一律 20,000 円 + 1,000 円 × 人数分の補助
- 3 必要経費補助については次のとおりとする。
 - (1) 地区駅伝大会、仲良し音楽会・春の祭典等で学校代表として出場する大会等にバスを利用する場合は、必要経費 + バス代を補助する。
 - (2) 雑費として必要経費が認められる場合、陸上競技場等の施設利用料への補助も行う。
 - (3) その他の経費補助
 - ① 学校側から後援会費の補助について相談がある場合は、学校関係者（校長・関係職員）と執行部会で審議し、承認を受ける。
 - ② 部活動の運営上、必要な経費が不足、又は不足する恐れのある場合、学校関係者（校長・関係職員）と執行部会で審議し、承認を受ける。
- 4 引率者等への補助対象について
 - (1) 中学校体育連盟主催以外の、通常日に開催される対外試合等への引率費の補助を行う。ただし、各部において、年 4 回までの補助とする。なお、職員 1 名あたりの引率費の補助額は次のとおりとする。

① 市内で行われる対外試合等	1 日につき	500 円
② 市外で行われる対外試合等	1 日につき	1,000 円
 - (2) 上記第 3 条 3-(1) の大会等に引率する職員等については、原則として県費の旅費を支給するものとする。
 - (3) 部活動担当職員へ顧問補助を行う。なお、その金額は 1 名につき 5,000 円とする。
- 5 予備費
予備費は予算外の支出またはやむを得ない予算超過の支出に充てるものとする。
- 6 体育・文化的活動の振興、充実、発展に関する補助について
体育・文化的活動の振興、充実、発展が期待される事業については、学校関係者（校長・関係職員）と執行部会で審議し、評議員会の承認を受ける。

第4条 補助金の決定について

- 1 部活動等の補助金に対しては、執行部会において審査・決定し、評議員会で報告する。
- 2 体育・文化的活動の振興、充実、発展に寄与する活動補助金については、その請求を執行部会で審議・決定し、評議員会で報告する。

第5条 体育文化後援会の管理について

- 1 体育文化後援会費の管理は P T A 会長が行う。
- 2 会計は、P T A 会長が委嘱する。

第6条 附則

- 1 この規定は平成 24 年 5 月 1 日から運用される。
- 2 この規定は平成 27 年 4 月 30 日から運用される。
- 3 この規定は令和 元年 5 月 10 日から運用される。
- 4 この規定は令和 4 年 4 月 27 日から運用される。
- 5 この規定は令和 5 年 4 月 27 日から運用される。
- 6 この規定は令和 6 年 5 月 2 日から運用される。

体育文化振興基金規定

薩摩川内市立平成中学校 P T A

第1条 目的

この基金は、平成中学校の生徒における体育・文化活動で、県及び九州・全国大会へ出場する場合の経費補助とするとともに、振興に寄与することを目的とする。

第2条 基金の積立

- 1 基金の元金は、平成10年度に設立された基金を基にする。
- 2 基金の積立は、1年時の1学期に、一戸から金2,000円を納入する。
(転入生の家庭は、転入時に納入する。)
- 3 基金の規定額は50万円とする。基金の規定額を下回る事情が生じた場合は、積立金の徴収方法について、執行部会で検討し、評議員会で決定する。
- 4 積立金の余剰金が生じた場合は、体育文化後援会に補助することができる。なお、余剰金については、執行部会で検討し、評議員会で決定する。

第3条 運用規定

- 1 大会参加補助について
 - (1) 中学校体育連盟主催の地区総体を勝ち抜き、県大会に出場する部(登録選手及びマネージャー1名)、選手、引率顧問及びそれに準ずる者。
 - (2) 中学校体育連盟主催の県大会を勝ち抜き九州大会・全国大会に出場する部(登録選手及びマネージャー1名)、選手、引率顧問及びそれに準ずる者。
 - (3) 各協会主催の地区予選を勝ち抜き、県大会に出場する部(登録選手及びマネージャー1名)、選手、引率顧問及びそれに準ずる者。
 - (4) 各協会主催の県大会を勝ち抜き、九州大会・全国大会に出場する部(登録選手及びマネージャー1名)、選手、引率顧問及びそれに準ずる者。
 - (5) 文化部に関する行事・大会に参加する部、生徒、引率顧問及びそれに準ずる者については、執行部会で審議し、決定する。
 - (6) その他
 - (1)～(5)以外の体育・文化的活動において、九州大会・全国大会出場に該当する部、選手・引率顧問及びそれに準ずる者については、執行部会で審議し、決定する。
- 2 体育・文化的活動の振興、充実、発展に関する補助について
体育・文化的活動の振興、充実、発展が期待される事業については、学校関係者(校長・関係職員)と執行部会で審議し、総務委員会の承認を受ける。
- 3 中学校体育連盟、各協会主催又はそれに準じる行事・大会等において県大会、九州・全国大会出場が決まった際の補助金の項目及び金額は次のとおりとする。
 - (1) 県内開催の県大会への補助金額及びその種類
【生徒】
 - ① 往復の交通費
JR及び路線バス等の公共交通機関で計算した運賃を支給し、上限を2,000円とする。
(本土内に限る。)ただし、貸切バス等を利用し運賃等を要しない場合は支給しない。
 - ② 参加料等
本校部活動組織表に該当しない選手要請した陸上競技大会・駅伝競走大会等に係るナンバーカード代・参加料については、全額を支給する。
 - ③ 宿泊費
宿泊を必要とする遠隔地の場合、1人1泊5,000円を支給する。
【引率者】
 - ① 往復の交通費
県の旅費規定を適用し、全額を支給する。
 - ② 日当
1日につき200円を支給する。
 - ③ 宿泊費
宿泊を必要とする遠隔地の場合、大会要項等に記載、案内された金額を上限として支給する。記載なき場合は、生徒の例に準じる。
 - (2) 県外開催の九州大会・全国大会への補助金額及びその種類
【生徒】
 - ① 往復の交通費
航空機、JR運賃(特別急行列車)等の公共交通機関で計算した運賃を支給する。
ただし、貸切バス等を利用し運賃等を要しない場合は支給しない。
 - ② 参加料等
全額を支給する。
 - ③ 宿泊費
1人1泊7,000円を支給する。

【引率者】

- ① 往復の交通費
県の旅費規定を適用し、全額を支給する。
- ② 日当
1日につき1,200円を支給する。
- ③ 宿泊費
大会要項等に記載、案内された金額を上限として支給する。記載なき場合は、生徒の例に準じる。

4 その他

- (1) 本校部活動組織表に該当しない臨時的な部活動において県、九州・全国大会出場に決定し、貸切バス等の利用が必要とされる場合、その項目について支出することができる。
ただし、その場合第3条3-(1)-①及び第3条3-(2)-①のとおり生徒への補助として交通費は支給しない。
- (2) 九州大会・全国大会が鹿児島県内で開催される場合は、生徒、引率者への補助は第3条3-(1)を適用する。
- (3) その他、大会参加に伴い補助を必要とする項目等が生じた場合は、執行部会において審査し決定する。

5 大会参加に補助金の請求方法

- (1) 引率顧問又は保護者は、大会参加前に下記の書類により補助金の請求を行う。
○請求書(学校指定) ○大会要項 ○大会参加計画
- (2) 引率顧問又は保護者は、大会参加計画に変更が生じ、補助金の申請額(受領額)に変更が生じた場合には、返金もしくは追加請求を行う。

第4条 補助金の決定について

- 1 大会参加に係る補助金の請求により、執行部会において審査・決定し、評議員会で報告する。
- 2 体育・文化的活動の振興、充実、発展に寄与する活動補助金については、その請求を執行部会で審議・決定し、評議員会で報告する。

第5条 基金の管理について

- 1 体育文化振興基金の管理は、PTA会長が行う。
- 2 会計は、PTA会長が委嘱する。

第6条 附則

- 1 この規定は、平成12年 7月14日から運用される。
- 2 この規定は、平成13年 4月24日から運用される。
- 3 この規定は、平成18年 4月26日から運用される。
- 4 この規定は、平成19年 4月26日から運用される。
- 5 この規定は、平成22年 4月27日から運用される。
- 6 この規定は、平成25年 5月 1日から運用される。
- 7 この規定は、平成27年 4月30日から運用される。
- 8 この規定は、平成28年 4月28日から運用される。
- 9 この規定は、令和 元年 5月10日から運用される。
- 10 この規定は、令和 4年 4月27日から運用される。

令和7年度 年間行事予定表

薩摩川内市立平成中学校

	曜	4月	曜	5月	曜	6月	曜	7月	曜	8月	曜	9月
1	火	年度始休業(～5日)	木	1年宿泊学習事前2 探究学習オリ(2・3年) 2年修学旅行事前3 3年フォーラム事前2	日	週休日	火	生徒指導部会	金	職員会議 職員研修 企画委員会	月	二期期始業式 大掃除 身体測定 職員会議(10月行事等) P 校務・評議員会②
2	水	企画委員会 職員会議 学年部会 生徒理解 係会	金	探究学習(2・3年) P TA総会 PTA歓迎会	月	生徒集会(地区総体推 戴式) 眼科検診(13: 30～) 生徒指導部会	水	3年高校説明会1 企 画委員会 定時退校 日	土	週休日	火	3年実力テスト
3	木	企画委員会 職員会議 係会 教科部会 生徒 理解	土	祝 憲法記念日	火	地区総合体育大会	木	いじめのない学校づく りの日 3年高校説明 会2	日	週休日	水	生徒指導部会 定時退 校日
4	金	企画委員会 職員会議 学年部会 新年度準備	日	祝 みどりの日	水	地区総合体育大会 定時退校日	金	第1回漢字検定	月		木	いじめのない学校づく りの日 探究学習 企 画委員会
5	土	週休日	月	祝 子どもの日	木	いじめのない学校づくりの日 地区総合 体育大会予備日 探究学習先見通し・7 月期終考停止(～12日) 企画委員会	土	週休日	火		金	校内就学指導委員会 体育大会事前1
6	日	週休日	火	振替休日	金	職員研修 平成校区あ いさつデー	日	週休日	水		土	週休日
7	月	新式式 始業式 入学 式準備 学活 入学式 入学式後片付け	水	平成校区あいさつデー 3 年フォーラム3 探究学習 (2・3年) 定時退校日	土	週休日	月	平成校区あいさつデー 小中一貫教育授業交 流①	木		日	週休日
8	火	平成校区あいさつデー 身体測 定 1年入学オリエンテーション 学年部 会 PTA新旧執行部会	木	3年フォーラム発表 探究学習(2年)	日	週休日	火	全校朝会 探究学習 生徒指導部会	金		月	平成校区あいさつデー 体育大会事前2
9	水	学校写真(2・3年、職員) 知能検査 (1・3年) 標準学力検査 生徒指導 科 企画委員会 定時退校日	金	2年修学旅行事前4・5 1日遠足(3年)	月	生徒指導部会	水	夏休み事前指導(予) 学校安全衛生推 進委員会 校長・教員会② 企画委員会 やどりの日	土		火	全校朝会 体育大会事 前3 生徒指導部会
10	木	標準学力検査 交通安 全教室	土	土曜授業 避難訓練(原子力安 全指導) 2年修学旅行事前5 3年フォーラム事後1	火	全校朝会 企画委員 会 小中一貫教育推 進委員会②	木		日		水	体育大会事前4 企画 委員会
11	金	心臓検診(10:30～) 2年修学旅行事前1 学級PTA	日	週休日	水	期末テスト 定時退校 日	金		月	祝 山の日 リフレッ シュウィーク(～17日)	木	体育大会事前5(学年)
12	土	週休日	月	職員研修 P月例執行 部会①	木	期末テスト	土	土曜授業 学校保健 委員会・家庭教育学級 元気塾	火		金	体育大会事前6・7
13	日	週休日	火	全校朝会(陸上種別式) 3年実力テスト 探究学習(3年) 教育相談 生徒指導部 会 小中一貫教育推進委員会②	金	期末テスト	日	週休日	水		土	週休日
14	月	生徒会オリ 部活動紹 介 職員会議(5月行事 等) 職員研修	水	内科検診(13:30～) 探 究学習(3年) 教育相談 企画委員会 定時退校日	土	土曜授業 夏フェス学級 事前2	月		木		日	週休日
15	火	生徒集会 ☆家庭訪問① (高来) 尿検査1次(～16 日) 生徒指導部会	木	教育相談 尿検査2次 (～16日) 地区陸上 競技大会	日	週休日	火	生徒会事前打ち合わ せ 生徒指導部会	金	終戦記念日	月	祝 敬老の日
16	水	家庭訪問②(城上・八幡) 生徒会専門部会 企画委 員会 定時退校日	金	夏フェス学級事前1 教育相談 探究学 習(3年) 生徒会事前打ち合わせ 地区 陸上競技大会予備日	月	地域PTA 思春期教 室(2・3年)	水	探究学習 生徒会専 門部会 企画委員会 定時退校日	土	週休日	火	体育大会予行
17	木	全国学力学習状況調査(中学校では1 4日～17日のいずれか1日でCBT方式で 実施) 生徒会金賞授与合わせ 校長・ 教員会①	土	週休日	火	夏フェス学級事前3 生徒会事前打ち合わ せ 生徒指導部会	木	生徒集会	日	週休日	水	全校朝会(新年度期式) 体育大会事前 8 予行予備日 生徒指導部会 生徒会 事前打ち合わせ 定時退校日
18	金	家庭訪問③(高来・八 幡) 避難訓練	日	週休日	水	眼科検診(13:30～) 生徒会 専門部会 企画委員会 定時退 校日	金	一学期終業式 大掃 除 職員会議 相互点 検	月		木	体育大会事前9 企画 委員会
19	土	週休日	月	生徒指導部会 第1回 小中一貫教育全体研 修会	木		土	夏季休業(～8月31 日)	火		金	体育大会事前10 体 育大会準備
20	日	週休日	火	職員会議(7月行事等) 1 年宿泊学習事前3 探究 学習(2年) 企画委員会	金	※素点×切 夏フェス 全体合唱	日	週休日	水		土	週休日
21	月	☆家庭訪問④(高来・城 上) PTA総務評議員 会	水	集団宿泊学習(1年) 探究学習(2年) 定時 退校日	土	週休日	月	祝 海の日	木	出校日 職員会議 職 員研修 企画委員会 P月例執行部会③	日	第35回体育大会
22	火	全校朝会 ☆家庭訪問 ⑤(高来・城上) 生徒指 導部会	木	集団宿泊学習(1年)	日	週休日	火	校務分掌係会	金		月	体育大会振替休日
23	水	家庭訪問⑥(高来・城 上) 企画委員会 定時 退校日	金	2年修学旅行事前7 休養措置日(1年) 第 1回英語検定	月	職員会議(学期末関 連) 夏フェスリハ P 月例執行部会②	水	校務分掌係会	土	週休日	火	祝 秋分の日
24	木	家庭訪問⑦(2年) 尿 検査予備日(～25日)	土	週休日	火	生徒集会 第12回夏の平成フェ スタ(4h:小中交流) 学校PTA 生徒指導部会	木		日	週休日 親子愛校作 業	水	市教務訪問 秋フェス 学級事前1 生徒指導 部会 定時退校日
25	金	生徒総会	日	週休日	水	耳鼻科検診(9:30～) 探究学習オリ (1年) 探究学習(2・3年) 企画委員会 定時退校日	金		月		木	地区駅伝大会
26	土	週休日	月	1年宿泊学習事後1・2 探究学習(3年) 修 学旅行(2年)	木	救命救急講習(2 年)?	土	週休日	火		金	秋フェス学級事前2 生徒 会専門部会 企画委員会 地区駅伝大会予備日
27	日	週休日	火	修学旅行(2年)	金	※評定×切 探究学 習	日	週休日 親子球技大 会	水		土	週休日
28	月	いじめのない学校づく りの日 職員会議(6月行 事等) 生徒指導部会	水	修学旅行(2年) 定時 退校日	土	週休日	月		木	(企画委員会)	日	週休日
29	火	祝 昭和の日	木	休養措置日(2年) P 総務・評議員会①	日	週休日	火		金		月	職員会議(11月行事 等) 探究学習
30	水	職員研修 1年宿泊学習事前1 2年修学旅行事前2 3年フォー ラム事前1 企画委員会 定時退校日	金	生徒会専門部会 企 画委員会	月		水		土	週休日	火	生徒集会 生徒会役員 改選 生徒指導部会
31			土	週休日			木		日	週休日		

令和7年度 年間行事予定表

薩摩川内市立平成中学校

	曜	10月	曜	11月	曜	12月	曜	1月	曜	2月	曜	3月
1	水	探究学習発表(1年) 企画委員会 定時退校日	土	週休日、地域が育む「かごしまの教育」県民週間(～7日)	月		木	祝 元日	日	週休日	日	週休日
2	木	いじめのない学校づくりの日 探究学習発表(2年)	日	週休日	火	生徒集会 薬物乱用防止(1・2年) 生徒指導部会	金		月	第2回小中一貫教育全体研修会	月	職員会議(修了判定・年度末開運等) 2年職場体験事後1
3	金	食育教室(2年) 探究学習発表(3年) 第2回英語検定	月	祝 文化の日	水	企画委員会 定時退校日	土		火	生徒指導部会	火	生徒集会 2年職場体験事後2 3年入試事前指導 生徒指導部会
4	土	週休日	火	3年実力テスト 秋フェス事後 家庭学習充実週間・テスト部活停止(～11日)	木	いじめのない学校づくりの日 冬休み事前指導1	日		水	3年学級PTA 学校保健委員会 企画委員会 定時退校日 家庭学習充実週間・テスト部活停止(～12日)	水	公立高校入試? 1年学年行事事前3・4 職場体験事後3・4 校長・教員会⑤ 定時退校日
5	日	週休日	水	生徒会引継式(朝) 生徒指導部会 定時退校日	金	校内推薦委員会	月	仕事始め	木	いじめのない学校づくりの日 2年職場体験事前3	木	公立高校入試? 合唱タイム(1・2年)
6	月	平成校区あいさつデー 職員研修 秋フェス学級事前3	木	平成校区あいさつデー 生徒会事前打ち合わせ(新旧) 企画委員会 P総務・幹事委員会③	土	週休日	火	企画委員会	金	平成校区あいさつデー 2年職場体験事前4 3年面接指導3 第3回漢字検定	金	平成校区あいさつデー 同窓会入会式 クラスマッチ ※1・2年評定
7	火	地区新人総体	金	平成校区あいさつデー 3年授業参観・学級PTA	日	週休日	水		土	週休日	土	週休日
8	水	地区新人総体 定時退校日	土	土曜授業・新旧生徒会専門部会	月	平成校区あいさつデー 職員研修	木	平成校区あいさつデー 三学期始業式 大掃除 職員会議(2月行事等)	日	週休日	日	週休日
9	木	秋フェス学級事前4 地区新人総体予備日 生徒指導部会	日	週休日	火	全校朝会 1年学校紹介事前2 生徒会事前打ち合わせ へいへい交流会(午前)	金	3年実力テスト P月例執行部会⑥	月	職員研修	月	合唱タイム2 卒業式 予行?
10	金	企画委員会 P月例執行部会④	月	期末テスト	水	生徒指導部会 定時退校日	土	週休日	火	学年末テスト	火	卒業式準備?
11	土	週休日	火	期末テスト	木	小中一貫教育授業交流② 企画委員会	日	週休日	水	祝 建国記念の日	水	第35回卒業式? 定時退校日
12	日	週休日	水	期末テスト 定時退校日	金	生徒会専門部会	月	祝 成人の日	木	学年末テスト	木	公立高校合格発表?
13	月	祝 スポーツの日	木	生徒指導部会	土	土曜授業 人権学習	火	いじめのない学校づくりの日 1年学校紹介事前3・4 3年面接指導1・2 生徒指導部会	金	学年末テスト ※P新役員選出(予定)	金	学校安全推進委員会 企画委員会
14	火	全校朝会 元氣塾 生徒指導部会	金	校務分掌係会 企画委員会	日	週休日	水	鹿児島学力・学習状況調査 定時退校日	土	土曜授業	土	土曜授業
15	水	ゆとりの日 秋フェス学級事前5 企画委員会	土	週休日	月		木	鹿児島学力・学習状況調査	日	週休日	日	週休日
16	木	秋フェス学級事前6	日	週休日	火	生徒集会 生徒指導部会	金	職員会議(卒業判定会) 合唱タイム1	月	職員会議(卒業判定会) 合唱タイム1	月	生徒会事前打ち合わせ
17	金		月	教育相談・三者面談	水	学校安全衛生推進委員会 企画委員会 定時退校日	土	週休日	火	全校朝会 1年学年行事事前1・2 血液調剤(3年) 生徒会事前打ち合わせ 生徒指導部会	火	生徒指導部会
18	土	週休日	火	全校朝会 教育相談・三者面談 生徒指導部会	木		日	週休日	水	3年面接指導4 企画委員会 定時退校日	水	生徒会専門部会 企画委員会 定時退校日
19	日	週休日	水	※素点〆切 教育相談・三者面談 企画委員会 定時退校日	金	第32回開校記念強歩大会	月	職員研修	木	1・2年学級PTA P月例執行部会⑦	木	生徒集会
20	月	職員研修	木	教育相談・三者面談	土	週休日	火	3年生を励ます会 1・2年職員会議 3年公立調剤等 生徒会事前打ち合わせ 生徒指導部会	金	生徒会専門部会 ※素点〆切	金	祝 春分の日
21	火	生徒会事前打ち合わせ 生徒指導部会	金	教育相談・三者面談 生徒会事前打ち合わせ	日	週休日	水	企画委員会 生徒会専門部会 定時退校日	土	週休日	土	週休日
22	水	企画委員会 生徒会専門部会 定時退校日	土	週休日	月		木	入学説明会(1年学校紹介 6年生来校)	日	週休日	日	週休日
23	木	秋フェス事前7	日	祝 勤労感謝の日	火		金	第3回英語検定	月	祝 天皇誕生日	月	
24	金	第2回漢字検定	月	振替休日	水	二学期終業式 大掃除 職員会議 相互点検	土	週休日	火	職員研修 3年面接指導5 生徒指導部会 小中一貫教育推進委	火	
25	土	週休日	火	職員会議(学期末開運) 生徒指導部会	木	冬季休業(～1/7) 相互点検 校務分掌係会	日	週休日	水	企画委員会 定時退校日	水	修了式 大掃除 学活 辞任式 職員会議 相互点検
26	日	週休日	水	1・2年授業参観・学級PTA 学校保健委員会 企画委員会 定時退校日	金	仕事納め	月	職員会議(3月行事等) P総務委員会・評議委員会④	木	職場体験(2年)	木	年度末休業(～31日) 職員会議 小・中連絡会
27	月	職員会議(12月行事等) 秋フェス学級事前8	木	1年学校紹介事前1 生徒会専門部会	土		火	生徒集会 2年職場体験事前1 生徒指導部会	金	職場体験(2年) ※3年評定	金	新入生学用品販売 12:00～14:00
28	火	生徒集会 秋フェス学級事前9 生徒指導部会	金	※評定〆切 小中一貫教育推進委員会③	日		水	ゆとりの日 企画委員会	土	週休日	土	
29	水	企画委員会 定時退校日	土	週休日	月		木				日	
30	木	いじめのない学校づくりの日 秋フェス学級 全体会議 秋フェス学級事前10・11・12(リハ)	日	週休日	火		金	2年職場体験事前2			月	職員会議 学年部会
31	金	第15回「秋の平成フェスタ」 秋フェス事後 P月例執行部会⑤			水	大晦日	土	週休日			火	

【校訓】自主：自ら学び、理性をもって正しく行動する生徒

人間尊重を基盤とし、教育関係法
規並びに県・地区・市の教育方針を
基調に、公教育の理念を踏まえた教
育を推進する。

【学校教育目標】
自ら学び、心豊かで、たくましい生徒の育成
～ キャッチフレーズ ～ 輝く笑顔、歌声響く学校～

創造：心身ともに健康で、創造性豊かに根気強く実践する生徒

敬愛：明るく、素直で思いやりがあり、心豊かな生徒

郷土の歴史や文化、本校の伝統を
重んじ、学校や地域社会の教育課題
を的確に把握して、保護者や地域の
願いに応える教育を推進する。

【学校経営方針】

チーム平成中（チーム力を生かす）和と協働
教職員個々が「よきを發揮できる環境」「よさを共有で
き、認め合い、生かす合う」「互いに同僚生を高め合う」
※ 生徒に寄り添う「M.O.M.姿勢」

- 【M：見つめる。O：思いをめぐらす。M：向き合う】
すべては生徒たちのために（生徒たちにとってどうか？）
(1) 生徒と教職員の健康と安全が第一
(2) 生徒たちの成長のために、教師は力量を高め発揮
(3) 生徒の夢を育み、人権同和教育の視座に立った、一人一
人を大切にしたい教育（人権教育はすべての教育の基本）
(4) 厳しさと温かさ、師弟同行を基本理念とした心の触れ合
う教育
(5) 健康や安全についての意識を高め、生涯を通じて健康の
保持や安全の確保ができるための教育
(6) 郷土の自然や文化への理解を深めさせ、郷土愛に満ちた
生徒の育成（地域行事への参加）
(7) PDCAマネジメントサイクルを重視した校務推進と改善
(8) 社会に開かれた学校（地域の中の学校）、情報発信と連携
(9) 家庭・地域・関係機関との信頼と協力による教育の推進
(10) 生徒の育成

【めざす学校像】

- 礼儀正しく、活気に満ちた学校
- 歌声が響き、明るく笑顔あふれる学校
- 学力が身に付く学校
- 美しく、環境が整っている学校
- 家庭や地域から信頼され、期待される学校

【めざす生徒像】

- 気持ちのよいあいさつや返事ができる生徒
- 目標を持って、学び合っている生徒
- 自らの夢を語り、進んで奉仕する生徒
- 相手を尊ぶことを考え、思いやりのある生徒
- 地域と積極的に関わり、地域に誇りを持つ生徒

【めざす教師像】

- 人権感覚を磨き、人間性豊かな教師
- 研修に励み、指導力の向上に努める教師
- 子どもの姿から学ぶことができ、個性を伸ばす教師
- チームとして生徒を大切に、信頼される教師
- 生徒・保護者・同僚から信頼される教師

【教育課題と努力点】

- 確かな学力の定着（目標設定と授業改善）
いじめ、不登校の未然防止と早期対応（魅力ある学校づくり）
安心・安全と健康・体力（日常点検と継続的指導）
- 学力的な事項
1 学力に関する事項（授業改善）
・標準学力検査
・全国学力・学習状況調査（CBT方式）
・鹿児島学力・学習状況調査（CBT方式）
・家庭学習時間の定着（1年：100分2年：110分3年：120分）
・ICT機器の活用（タブレットの持ち帰り）
2 生徒指導に関する事項（未然防止と早期発見）
・不登校
・いじめ
・問題行動
3 生徒の健康・安全（事前指導と継続的指導）
・けが事故
・う歯の未処置者
・朝食摂取率
・部活動入部率

最重要項目・・・「確かな学力の定着」「いじめ、不登校の未然防止と早期対応」「安心・安全と健康・体力」

プラン1【確かな学力】

- 「主体的・対話的で、深い学び」毎時間の授業で勝負する
- 職員研修の充実
・校内研修テーマ「学習者主体の視点に立った教育の実践」
～読・書・算の基礎を身につけ、主体的に学ぶ生徒の育成を目指して～
・授業を通しての工夫改善
・指導方法の工夫改善
・研究テーマに合った授業改善（共通実践事項の実践）
・北薩の授業づくり3ポイント（学習意欲を高める）
・授業を通しての他教科との枠を超えた指導方法の研修
・研究授業・授業研究の実施（日頃から相互参照）
・ICT機器の効果的な活用
 - 全校・学年体制での指導（道徳・朝自習・補習指導等）
4 土曜授業（年10回）を通じた取組
 - 家庭学習時間の確保（1年：100分2年：110分3年：120分）
5 自己肯定感の醸成（教科・道徳・特活・学校行事・部活動）
6 平成中学校区小中一貫教育の推進と充実（4校の連携）

プラン2【豊かな心】

- 「生徒一人一人に寄り添い語り添い語る」誠実に寄り添い語る
- 基本的な生活習慣の確立
・気持ちのよい「あいさつ」への取組
・登校時刻を守る（生徒会）共通実践
・服装・身なりの徹底、無言作業
2 生徒指導体制の確立（チーム力）
・いじめ、不登校への対応（生徒指導委員会、SC・SSW・心の教室職員・教務指導員（スマイルーム）・外部関係機関等との連携）
3 道徳の時間での充実（授業時間の確保と授業以外の取組）
・「考え議論する」授業、道徳の評価の実施及び研究
・計画的な年間計画の実施・評価
4 進路指導・キャリア教育の充実
・人権同和教育の推進（特別支援教育の充実）
5 命の大切さを学ぶ教育、清掃の徹底
6 自己肯定感の醸成「高揚感」「有用感」「成就感」の獲得
7 特別支援教育の充実（合理的な配慮と保護者との連携）
8 部活動の充実（自己有用感・自己肯定感・自尊感情）

プラン3【安心・安全と健康】

- 「健康と安全はより一歩先」自分で自分の命や体を守る
- 安全指導・安全管理の徹底
・平成年間安全指導（月1回）※交通安全指導の実施
・自転車通学生への指導（ヘルメット着用、施錠の徹底）
・日常点検と緊急時対応（結露時転倒防止策）
2 体力・気力・体力づくりの推進
・教科体育、体育的行事の充実
・補助運動や、一校一運動の実践
・集団行動様式の習得
3 健康の保持増進
・健康の生活習慣の確立「早寝・早起き・朝ご飯」
・確かな健康観察の実施（睡眠時間の確保）
・清潔・整理整頓（安全指導の第一歩）
・学校保健委員会の充実
4 講師を招聘しての教育
・性（命）の教育、食育、薬物乱用防止教室等

信頼される学校・教職員 （責任を果たす教育）

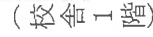
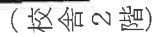
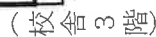
「平成中で学んでよかった！」

チーム平成中・同僚性を発揮！

- 魅力ある学校づくり
- 一人一人の使命感と職業感！
- 専門性に基づくチーム体制の構築
- 一人一人が力を発揮できる環境整備

- 教師の姿、本気度
- 生徒との信頼関係の構築（生徒指導員による「発達支援的指導」の理解と実践）
- 保護者や地域との積極的な連携（PTA執行部及び地区コミュニティ協議会との連携）
- PTA行事や地域行事への積極的な参加、保護者への対応（誠意ある態度・マナー）
・学校運営協議会の開催（学校関係者、評議員、地域あつての学校、学校あつての地域）
・勤務規律の厳正確保（年間計画と継続的な指導）※ 自分を守る、家族を守る

令和7年度教室配置図
職員会議(4月2日)修正案



令和7年度 職員名簿

薩摩川内市立平成中学校

	職名	氏名	教科	学年・組・担任	主な校務分掌	部活動
1	校長	福園 和幸				
2	教頭	竹内 慶司				
3	教諭	吉田 昂史	社会	1年A組担任	情報教育・PTA	野球
4	教諭	赤木 琢弥	理科	1年A組副担任	安全指導・生徒指導	野球
5	教諭	米里 美咲	英語	たんぼぼ学級担任・1年A組副担任	ふるコミ	卓球
6	教諭	赤崎 香苗	英語	2年A組担任	教科書等補助教材	卓球
7	教諭	宮崎 雅美	国語・家庭	あおぞら学級担任・2年A組副担任	特別支援教育	女子バレー
8	講師	知覧 さゆり	数学	2年A組副担任	環境整備	サッカー
9	教諭	森永 美香	音楽	ひまわり学級担任・2年A組副担任	人権教育	音楽
10	教諭	井上 美南海	保体・技術	3年A組担任	生徒指導	サッカー
11	教諭	板坂 新一	数学	3年A組副担任	教務	女子バレー
12	教諭	茅野 裕子	国語・家庭	3年A組副担任	進路指導・研修	音楽
13	非常勤講師	大塚 亮子	美術			
14	養護教諭	片野坂久美子			保健指導 学校給食	
15	事務主査	田中 信芳			事務全般 就学援助	
16	学校主事	池上 博文			庶務全般 環境整備	
17	司書補	徳守 彩圭			図書室運営	
18	ALT	マドレイン・ボン				
19	スクール カウンセラー	松尾 治子				
20	校内教育支援 センター支援員	石塚 俊郎				
21	スクールソーシャル ワーカー	野平 誠				
22	学校校務 支援員	萩原 亜希				

学 校 医

1	内科	坂口 由一	坂口病院	大王町1-1 (23-4509)
2	歯科	池田 敏雄	池田歯科医院	原田町7-7-2 (25-3555)
3	耳鼻科	下藺 政巳	中郷の杜クリニック	中郷4-249 (20-7123)
4	眼科	有村 夏来	有村眼科	御陵下町20番29号 (29-3322)
5	学校薬剤師	御手洗 洋一	アクア薬局川内	中郷4-6 (20-0008)

	平成17年度 第10代	平成18年度 第11代	平成19年度 第12代	平成20年度 第13代	平成21年度 第14代	平成22年度 第15代	平成23年度 第16代	平成24年度 第17代	平成25年度 第18代	平成26年度 第19代	平成27年度 第20代	平成28年度 第21代	平成29年度 第22代	平成30年度 第23代
PTA会長	亀割 伸幸	笠毛 通夫	外園 拓郎	和田 栄之	福山 勝弘	北野 輝久	上村博文	末谷 善大	上村博文	上村博文	戸島 昭	山之内 克生	林 洋市	堀ノ内 隆
PTA副会長	中俣 正美	福山 尚子	福重 光則	田中 良二	坂元 安夫	末谷 善大	上村博文	川原 和代	川原 和代	戸島 昭	山之内 克生	城戸 浩二	宮原 和子	村山 郁美
PTA副会長	宮里 春喜	外園 拓郎	和田 宏之	佐藤 洋子	田中 英人	猿渡万智子	末谷 善大	川原 和代	池崎 さつ子	戸島 昭	長尾 さつき	宮原 和子	堀ノ内 隆	原田 美津久
PTA副会長		中俣 正美	巴上 直子	南 ひとみ	松若 昌子	南 美加	福山 尚子	北野 輝久	平山 直子	田中 晴美	高田 朝枝	城戸 ちづる	中山美奈子	森田 貴久美
総務部長	佐藤 洋子	佐藤 洋子	佐藤 洋子	福山 尚子	南 美加	川路みゆき	川路みゆき	北野 輝久	下田平 直美	田中 晴子	佐竹 かおり	田中 晴子	上野 明美	戸島 貴子
総務部副部長	鶴崎ひろみ	牧 朋子	南 ひとみ	長瀬ひとみ	竹田 良子	道場ルミ	上鶴 義博	吉川 美津子	川畑 千秋	宇都 里美	流合 初美	西村 美穂	岩下香代子	戸島 千恵
研修広報部長	今久保博子	鞘輪百代	田中康代	坂口 善美	末谷 美幸	上鶴 義博	徳永 真由美	徳永 真由美	今川 由加利	有村 明美	有村 明美	行村 明美	富吉ロエーナ	枇杷 美智代
事業部長	上大迫富美子	仲 由佳理	徳永真由美	坂口 善美	石原明美	徳永 真由美	原 美樹	野元 伊津美	北野 直美	末 廣 愛	安藤 ゆかり	藤本 昌代	城戸 ちづる	下園 朗美
保健体育部長	加治木トモ子	市来ふみえ	松若 昌子	松若 昌子	廣瀬比登美	徳永 真由美	原 美樹	野元 伊津美	北野 直美	園田 浩子	佐々木真由美	迫 道代	田畑 晴美	和田 真喜
生活指導部長	久保田順治	上床 昌子	好士崎仁美	前田 幹子	廣瀬比登美	徳永 真由美	原 美樹	野元 伊津美	北野 直美	園田 浩子	佐々木真由美	迫 道代	田畑 晴美	和田 真喜
家庭教育学級部長	桑畑美鈴	小園 絹栄	星原智美	長瀬 美子	橋口ひろみ	日渡 かおる	平塚 久美子	平塚 久美子	日渡 かおる	鎌田 幸海	森永 明子	森永 明子	木曾 裕美	田畑 晴子

※PTA会長を1年以上
 ※PTA副会長を2年以上
 ※PTA専門部長を3年以上

慶弔規定により感謝状を贈呈する。

	平成31年度 第24代	令和2年度 第25代	令和3年度 第26代	令和4年度 第27代	令和5年度 第28代	令和6年度 第29代
PTA会長	黄田 孝二	村山 郁美	渡辺 扶也	栗和 希一	堀野奈緒子	松 芳朗
PTA副会長	岩下香代子	渡辺 雅弥	藤山 恵美子	徳田 真紀	原 勝彦	長瀬 昌代
PTA副会長	渡辺 雅弥	渡辺 鉄也	栗須 亮一	原 勝彦	岩下香代子	城戸 浩二
PTA副会長	村山 郁美	福山 初美	飯森 瑞恵	佐藤美紀子	一松 芳朗	伊内 恵
総務部長	迫 道代	淵脇 智美	藤本 昌代	村山 郁美	佐藤美紀子	福山 梢
総務部副部長	枇杷真奈美	福山智恵美	丑尾田京子	與儀 健太郎	脇黒 美穂	福田 昌子
研修広報部長	枇杷千恵実	枇杷千恵実	今井 幸代	淵脇 智美	長野 誠	瀬戸口由美子
生活環境部長	小水流美奈子	横尾 絵美	脇黒 美穂	児島 達弥	狭間 鉄也	岩下香代子
保健体育部長	木曾 裕美	栗須 早香	谷口由香理	下園 朗美	山崎まゆみ	谷口由香里
家庭教育学級部長	道場 ルミ	井龍知恵子	林 留美	中堀 由佳	竹内美菜子	花北 綾子